

伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
1	30	パークアンドライドシステムの注釈	「目的地付近までは車で来て、目的地付近の駐車場に駐車した後、(エリア内では)公共交通機関に乗り換えて」・・・といった意味合いの表現にすべきである。	目的地エリア内(伊豆の国市内?それとももう少し狭いエリア?勝手に想像すると長岡温泉付近から反射炉周辺を想定している?)では「シフト」かもしれないが、ただ「シフト」というと全面的に公共交通機関を利用するように読めてしまい表現が適切でない。	御意見のとおり、「シフト」という表現では、全面的に公共交通機関にシフトする(切り替える)ようにも読めてしまうため、適切な表現に修正いたします。	P30(他頁含む)「(2)歴史資源を活かす観光地づくり」の用語説明「パークアンドライドシステム」 ・郊外から業務地区や観光地等へ集中する自動車交通を、バス、鉄道等の公共交通にシフトして渋滞を緩和する手法 ⇒【修正後】 ・自動車を駅周辺の駐車場に止め、鉄道やバス等の公共交通機関に乗り換えることで、渋滞緩和や環境改善を図るための手法
2	39	4 基本計画 (9)-① 「学生、女性、観光客など地元住民とは異なる視点」	「学生、女性の視点や観光客など地元住民以外の異なる視点などさまざまな視点」と言い換えるべき	学生や女性が地元住民でないみないな表現である。 このままでは地元以外の学生・女性という意味なのか地元の学生・女性なのか意味不明	御意見のとおり、現状では、「地元住民ではない学生及び女性」というように読めてしまうため、適切な表現に修正いたします。	P39「(9)発信力のあるブランドづくり」-「①観光資源の掘り起しと磨き上げ」の4ポツ目 ・学生、女性、観光客など、地元住民とは異なる新たな視点からの地域資源の掘り起しとその資源の活用方法などを検討する取組を推進します。 ⇒【修正後】 ・学生、女性、観光客など、新たな視点からの地域資源の掘り起しとその資源の活用方法などを検討する取組を推進します。
3	-	-	どう言う観光都市にしてゆくの?と言う具体例がほとんどない。	-	本計画は、今後10年間の市の観光振興のおおまかな方向性や目標を定めるものであり、より具体的な施策については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業にて定めてまいります。 なお、将来像としては、「3-1 将来像」に記載しております。	修正なし
4	-	-	他の観光地との違いをどう示して行くのか、それが言葉はあったものの、具体的に話が出てない。	-	本計画は、今後10年間の市の観光振興のおおまかな方向性や目標を定めるものであり、より具体的な施策については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業にて定めてまいります。	修正なし
5	-	-	まわりの自然を生かした、集客づくりをすべきである。並木道に特徴をもたせる。春の山づくり・・・カスミザクラ、ヤマザクラ、ヤマツツジ、モチツツジなど 秋の山づくり・・・オオモミジ、イロハモミジ、カジカエデ、イタヤカエデなど	-	具体的施策に関する御意見については、来年度以降のアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定の参考にさせていただきます。	修正なし
6	-	-	ジオパークと言う話がよく出ているが、この意味を周知させ、地形用語(火山地形などの)の説明を行なう。看板を設置する。	-	具体的施策に関する御意見については、来年度以降のアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定の参考にさせていただきます。	修正なし
7	-	-	散策路には、それなりのカンバンを置き、春に来る鳥の説明及び秋の鳥の説明を加える。また、樹木にはネームプレートを付け関心をもたせる必要。	-	具体的施策に関する御意見については、来年度以降のアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定の参考にさせていただきます。	修正なし
8	3	(3)計画の位置付け	・次期伊豆の国市総合計画(平成29年~)との整合性は、いつどのようにとるのか。	-	「次期伊豆の国市総合計画(平成29年~)」の策定時に、相互の内容が逸脱しないように整合を取ります。	修正なし
9	-	-	・伊豆の国市の観光の動向を把握するデータが「静岡県観光交流の動向」静岡県と「伊豆の国市統計書」だが、今回25年度に行った本計画策定の調査は、どこに示されているのか。資料3-1のアンケートだけか。	-	御指摘のアンケートのほか、「資料1-1 計画策定体制」の説明書きにあるとおり、「伊豆の国市2013年度アンケート調査実施報告書 ~伊豆の国市来訪客満足度調査~」を実施しています。	修正なし

伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
10	8,9,10	伊豆の国市の概況④観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記のデータでは、計画策定に必要な情報[観光客がいつ、どの地区からどんな手段(車、電車)で伊豆の国市に来ていて、どんな客層(性別、年齢、国籍)か]を把握できないのではないか。</li> </ul>	-	前項のアンケート調査では、御指摘の項目について調査しております。	修正なし
11			<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、伊豆の国市の観光動向調査を実施して、どのように客が流れているのか、どのような客が流れているのかを知らなければ、計画(予算)を立てても実態をわかっていないので、的外れなものとなる。</li> </ul>	-	御意見のとおり、実態調査は必要なことと考えます。来年度以降、アクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定の際には、必要に応じて、より詳細な調査の実施を検討するなどして、効果的な施策の推進に取り組んでまいります。	修正なし
12		2伊豆の国市の観光の現状と課題 2-1観光を取り巻く動向 2-2伊豆の国市の観光の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目2のタイトルが現状となっていながら、2-1が動向となっているのは?</li> </ul>	-	御指摘のとおり、整合性が取れておりませんので、適切な表現に修正します。	P11「2 伊豆の国市の観光の現状と課題」のタイトル⇒【修正後】「伊豆の国市の観光を取り巻く動向と課題」
13			<ul style="list-style-type: none"> <li>動向を示すデータが県や国の統計数字を使用しているが、伊豆の国市の動向調査が必定なのではないか。</li> </ul>	-	本市の観光に係る統計としては、「1-2 伊豆の国市の概況」-「(4)産業」-「④観光」に記載しております。	修正なし
14			<ul style="list-style-type: none"> <li>動向を記載すべき場所に、「・・・の取り組みが求められています。」とあるが、だれが求めているのか。</li> </ul>	-	特定の人物や団体等からの要望や期待などを記載しているのではなく、本市の観光において対応すべきことを「求められている」という表現で示しております。	修正なし
15	12~18		<ul style="list-style-type: none"> <li>2-1(1)~(9)の項目設定が唐突で、項目の必然性が分らない。</li> </ul>	-	本計画の導入部分として「本市の観光を取り巻く動向」を示すに当たり、伊豆の国市観光基本計画策定委員会及びワーキンググループにおける議論や同計画策定事務局が調査・確認し得た情報等を勘案し、「動向」として記載するに値すると考えた内容を、項目設定しております。なお、当該箇所については、適切な説明書きを追記します。	P12「2-1 観光を取り巻く動向」の冒頭⇒【修正後】新規追加 次項に掲げる「伊豆の国市の観光の課題」に向けて、昨今の観光を取り巻く動向を整理します。
16			<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の流れが理解できない。現状→課題→計画という流れが普通ではないのか。</li> </ul>	-	本案は、御指摘の流れで構成しております。	修正なし
17			<ul style="list-style-type: none"> <li>また、課題と計画の間に需要予測(マーケティング)が必要で、どのようなターゲットに対しての、計画を立てるのかを示すべきではないか。</li> </ul>	-	ターゲットは、個別の施策毎に変わってくるため、おおまかな方針や目標を定める本計画の内容にはそぐわないと考えます。	修正なし
18			<ul style="list-style-type: none"> <li>強みと弱みの項目を左右にできるだけ揃えて記載するのが分かりやすいのではないか。</li> </ul>	-	現状で十分わかりやすいものと考えます。	修正なし
19		<ul style="list-style-type: none"> <li>市が観光の重要テーマに上げている農業(6次産業)を大項目として上げるべきではないか。論じられている箇所も一行しかないのはなぜか。</li> </ul>	-	そもそも、観光振興のために6次産業化があるのではなく、6次産業化法の「前文、目的」によると、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等に関する施策及び地域の農林水産物の利用の促進に関する施策を総合的に推進することにより、農林漁業等の振興等を図るとともに、食料自給率の向上等に寄与することを目的とする。」とされております。そのため、本市としては、6次産業化により創出された新事業等を観光振興にも活用していくというイメージで施策を進めていくことを想定しております。国における6次産業化の推進を農林水産省が所管しているように、本市では、農業商工課がその推進を担当しているため、本計画では、当該箇所の記載内容に留めております。	修正なし	

伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
20	16	2-2伊豆の国市の観光の課題 (1)伊豆の国市の観光における強みと弱み	・強みと弱みの意味が不明なものが数多くある。	-	どのように不明なのかわかりかねるため、回答いたしかねます。	修正なし
21			○弱みで、市民活動の項目に、「観光と関わりがないと考えている市民が多い。」「これまでの観光振興の課題が共有されていない。」「市民主体の観光まちづくりが行なわれていない。」「観光客に対して日常と違うおもてなしが提供されていない。」←当たり前だと思う。	-	内容としては、当たり前のことですが、本計画の策定に当たり、市民の皆様にも改めて確認していただく意味を込めて、取りまとめたところです。	修正なし
22			○観光資源をここでは、どのような定義でとらえているのか？よくわからない。	-	一般的に「観光資源」については明確な定義はないと思われませんが、本計画では、市内にある観光に係るもの全て(名所、温泉、文化財、景観など、ハード・ソフト問わず)を観光資源として捉えております。	修正なし
23			○都市基盤の取り上げ方の意味がよくわからない。 一般的には、「道路・街路、鉄道、河川、上下水道、エネルギー供給施設、通信施設などの生活・産業基盤や学校、病院、公園などの公共施設のこと。」だと思うが、ここでは、道路、鉄道と景観のみに言及している。	-	本計画は、主として観光振興に係るもののため、特に当該振興にとって必要と思われる道路、鉄道、景観について言及しております。	修正なし
24			○観光資源広域観光の項目で、「観光資源が上手く生かされておらず、伊豆の国市ならではのキラコンテンツになっていない。」←だから観光基本計画を策定しているのではないのか。	-	お見込みのとおりです。	修正なし
25			○広域観光で、伊豆観光推進協議会や伊豆創造センターのことが論じられていない。	-	御指摘の項目に係る議論の有無については、本意見募集の主旨から逸脱しておりますので、回答いたしかねます。しかしながら、伊豆地域における広域的な取組については、伊豆地域を取り巻く動向として記載するに値するものと考えられるため、「2-1 観光を取り巻く動向」に追記させていただきます。	P12「2-1 観光を取り巻く動向」-「(1)伊豆地域への観光客(特に宿泊客)の減少」の3ボツ目 ・伊豆地域において、観光誘客は生命線であり、それは、本市においても同様です。 ⇒【修正】 ・伊豆地域において、観光誘客は生命線であり、それは、本市においても同様です。そのような中、「伊豆を一つに」という考えのもと、同地域を一体的・総合的に捉えた、新たな広域的な取組が表れてきています。
26			○メディカルツーリズムという点では、県で推進しているファルマバレー構想があげられるのではないか。	-	具体的施策に関する御意見については、来年度以降のアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定の参考にさせていただきます。	修正なし
27			○広域観光の弱みの論点がずれている。	-	どのように論点がずれているのわかりかねるため、回答いたしかねます。	修正なし
28			○PR情報発信では、長年にわたり、お金と労力をかけているキャンペーンの方法と成果についての議論がないのは、どうしてか。	-	御指摘の項目に係る議論の有無についての御意見は、本意見募集の趣旨から外れていると思われるので、回答いたしかねます。	修正なし
29	・全体的に強み弱みの議論は、もう少し深みのある議論が必要ではないか。	-	御指摘の項目に係る議論の質についての御意見は、本意見募集の趣旨から外れていると思われるので、回答いたしかねます。	修正なし		

伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
30	17	(2)伊豆の国市の観光の課題	・前頁の強みと弱みの議論が稚拙なために、課題の抽出が出来ていない。	—	御指摘の項目に係る議論の質についての御意見は、本意見募集の趣旨から外れていると思われまので、回答いたしかねます。	修正なし
31			・最初の観光動向調査が出来ていないことも課題抽出でできない要因となっている。	—	本計画の策定に当たっては、「資料3-1 アンケート調査の実施」で記載の調査のほか、「伊豆の国市2013年度アンケート調査実施報告書 ～伊豆の国市来訪客満足度調査～」により、本市における動向調査を実施しております。	修正なし
32			・具体的な課題が上がられていない。抽象的で、マーケティングや計画が出来ない。	—	伊豆の国市観光基本計画は、今後10年間の市の観光振興の方向性や目標を定めるものであり、より具体的な施策については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業にて定めてまいります。	修正なし
33	20	3-1将来像	・繰り返しになるが、現状の詳しい動向調査を行い、課題を抽出し、マーケティングをした上で、きびしい財政状況の中で、「選択と集中」を考えた政策判断(計画立案)をすべきである。	—	本計画の策定に当たっては、「資料3-1 アンケート調査の実施」で記載の調査のほか、「伊豆の国市2013年度アンケート調査実施報告書 ～伊豆の国市来訪客満足度調査～」により、本市における動向調査を実施しております。	修正なし
34			・どこにでもある考え方(理念)であり、伊豆の国市の独自の考え方(理念)として、改めて明示すべきようなことではない。	—	本計画は、合併以来10年間、本市にとっては必要でありながらも定められてこなかった方針や目標を定めるものであります。その理念としては、一見、独自性が十分ではないように見えてしまうかもしれませんが、本質的には観光振興によって市民の利益に寄与したいという強い思いを改めて掲げるというものですので、どうか御理解をいただきたいと考えております。	修正なし
35			・将来像をイメージできない。	—	将来像は、「3-1 将来像」に掲げた内容のとおりです。	修正なし
36			・ここに掲げた平成36年度目標数値については、21ページ以降で、その根拠となる計画実施による目標数字の積み上げであるべきだと思う。	—	政策推進の流れとしては、本計画に基づいてアクションプラン(行動計画)及び毎年度の事業を推進していくというものであります。本計画では、おおよその目安として数値目標を掲げておりますが、個別事業では、その目標を達成するに当たり、別途、より具体的な目標を定めていくことを想定しております。その過程で本計画の数値目標が適切ではないことが判明した際は、当該目標を変更するなど柔軟に対応していくことを考えております。	修正なし
37			・示された目標の考え方では、この目標数字の説明になっていない。	—	本計画の数値目標は、おおよその目安として位置付けており、その説明としては十分だと考えております。	修正なし
38			○民間観光施設 どの施設の入場者がいくつに想定しているのか。	—	御指摘の箇所の内訳は、主として、市を代表する観光施設である「伊豆の国パノラマパーク」と「IZU・WORLD みんなのHawaiians」です。当該箇所の数値は、おおまかな目標値ですので、各施設における人数の割り振りは明確化しておらず、総合的な数値として達成を目指すものとして位置付けております。	修正なし

伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
39	21	3-2目標	○市内イベント参加 ペースになっている数字が主催者発表の数字では、意味がない。また、市民参加の数も含まれている。	-	政策推進の流れとしては、本計画に基づいてアクションプラン(行動計画)及び毎年度の事業を推進していくというものであります。本計画では、おおよその目安として数値目標を掲げておりますが、個別事業では、その目標を達成するに当たり、別途、より具体的な目標を定めていくことを想定しております。その過程で本計画の数値目標が適切ではないことが判明した際は、当該目標を変更するなど柔軟に対応していくことを考えております。なお、確かに、現在の数値は、主催者発表を基にしておりますが、より適切な集計方法があれば、御提案いただけると幸いです。	修正なし
40			○観光農園 最盛期以外の季節イベントを計画する施設はどこか。	-	御指摘の箇所については、あくまでも例示です。具体的な施策については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業にて定めてまいります。	修正なし
41			○江川邸・葎山郷土資料館 反射炉世界遺産の集客効果が10年間続くとは、考えられないが、平成36年の反射炉の来場者を何人と想定しているのか。	-	数値目標で掲げているとおり、平成36年度の目標は15万人です。	修正なし
42			○その他施設(ゴルフ場他) ゴルフ人口の減少が業界の課題となっている。他施設との相乗効果と言うが、ゴルフそのものを目的として来場する客がほとんどである。	-	御指摘の箇所については、あくまでも例示です。具体的な施策については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業にて定めてまいります。	修正なし
43			○宿泊客数 国がインバウンド政策を掲げても伊豆の国市として取り組まなければ、集客はできないのではないか。どこの国から何人呼ぶのか。例えば、モンゴル、台湾から。	-	御指摘のとおり、国が国策として外国人観光客の誘致に取り組んでも、それだけで本市に当該観光客がお越しになるという保証はなく、市としても、より積極的かつ効果的な施策を推進していくことが必要であります。なお、本計画では、おおよその目安として数値目標を掲げておりますが、来年度以降の個別事業では、その目標を達成するに当たり、別途、より具体的な目標を定めていくことを想定しております。	修正なし
44			・課題の抽出から基本方針に至る経過がわからない。	-	「2-2 伊豆の国市の課題」で挙げた本市の強みと弱みを考慮しつつ、抽出した課題を解決するために掲げたものが基本方針です。	修正なし
45			・課題と基本方針の関係はどうなっているのか。	-	「2-2 伊豆の国市の課題」で挙げた本市の強みと弱みを考慮しつつ、抽出した課題を解決するために掲げたものが基本方針です。	修正なし
46			・需要予測(マーケティング)がないので、方針にいたる考え方に無理があるのではないか。	-	需要予測については、アンケートによる動向調査により確認しております。ただし、来年度以降、アクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定の際には、必要に応じて、より詳細な調査の実施を検討するなどして、より効果的な施策の推進に取り組んでまいります。	修正なし
47			・長年やってきた観光政策となんら変わりなく、新しいニーズに対応した「新しい観光」の方針となっていない。	-	市としても、昨今の観光を取り巻く状況が変わってきていることは重々承知しております。本計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業を定める際には、『新しいニーズに対応した「新しい観光」』となるような施策となるように留意し、取り組んでまいります。そのための具体的な御提案等がございましたら、観光課までお寄せください。	修正なし

伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
48	22~25	3-3基本方針	・今までの現状と課題でふれていない(4)農と食・・・(5)文化芸術・・・(6)健康・スポーツ・・・が突然出てくる出てくる理由がわからない。	-	御指摘の箇所については、内容を御覧になっていただければおわかりになるとおり、「2-2 伊豆の国市の課題」で挙げた本市の「強みと弱み」や「課題」に関するものとなっております。	修正なし
49	・(3)①贅沢な時間の提供 とはどのような方針か。 ③気軽に楽しめる温泉地サービスの提供 とはどのような方針か。		-	御指摘の箇所の考え方は、「4-1 施策の体系」の中の、同項目に掲げてあるとおりです。	修正なし	
50	・(5)③世界に通じる文化・芸術の発信 とはどのような方針か。		-	御指摘の箇所の考え方は、「4-1 施策の体系」の中の、同項目に掲げてあるとおりです。	修正なし	
51	・(8)③海の恩恵との連携 とはどのような方針か。		-	御指摘の箇所の考え方は、「4-1 施策の体系」の中の、同項目に掲げてあるとおりです。	修正なし	
52	・(9)発信力のあるブランド とはどのような方針か。		-	御指摘の箇所の考え方は、「4-1 施策の体系」の中の、同項目に掲げてあるとおりです。	修正なし	
53	26~28	施策の体系図	26ページと27ページが逆ではないか？ 4基本計画の見出しが26ページにあって27ページ 施策の体系図 28ページ 4-1 施策の体系 となるのではないか。	-	賛否両論あるとは思いますが、当方としては、当該箇所については、「3-3 基本方針」に付属するものと位置付けております。また、その内容の一部で「4 基本計画」に係る項目を記載することで、当該項目への繋がりを示しております。	修正なし
54	41~44	重点プロジェクト	・27ページから40ページの4基本計画4-1 施策の体系から重点プロジェクトに移行する理由(プロセス)がわからない。	-	重点プロジェクトは、「4 基本計画」に掲げたもののうち、市として、特に優先的かつ積極的に取り組むべきものとして取り上げているものであります。	修正なし
55			・1ページから44ページの流れが不明でどのようにこの計画が出来てきたのか考え方が示されていない。	-	本計画の流れは「目次」のとおりです。また、計画の位置付け等については、「1-1 計画の策定に当たって」に記載のとおりです。	修正なし
56			・市民の暮らしやすさと、来訪者が魅力を感じる部分の説明が不足している。	-	御意見が、重点プロジェクトのどの部分を指しているのかわかりかねるため、回答いたしかねます。	修正なし
57			・総合計画-観光戦略-観光基本計画-観光戦術(アクションプラン)というのが常識的な流れと考えられます。	-	本計画は、今後10年間の市の観光振興のおおまかな方向性や目標を定めるものであり、実質的には「観光戦略」としての位置付けであると考えております。	修正なし
58			・総合計画の立案がなく、それに基づいた観光戦略がないのに、観光基本計画となっているので、説得力に欠けるのではないのでしょうか。	-	本計画は、総合計画の分野別計画として位置付けております。また、当該計画は、今後10年間の市の観光振興のおおまかな方向性や目標を定めるものであり、実質的には「観光戦略」としての位置付けであると考えております。なお、現総合計画との整合性は取れており、また、次期総合計画の策定時には、相互の内容が逸脱しないように整合性を取ります。	修正なし

## 伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
59	46	6-1観光基本計画の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の策定委員会・ワーキンググループの人数が現在の関係団体の代表者が中心で新しい発想(新しい観光の提案)が生まれるとは考えられない。</li> </ul>	-	策定メンバーについては、もちろん、観光に関する基本計画の策定ということもあり、観光に携わっている方が多く含まれておりますが、計画案の作成に当たっては、学識経験者や公募でメンバー入りした方などの御意見も参考にまいりました。なお、来年度以降に定めるアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定に当たっては、市民等様々な方々の御意見を、これまで以上に取り入れながら進めていくことを考えております。	修正なし
60			<ul style="list-style-type: none"> <li>市外、首都圏在住者や観光の主役の女性(委員25名中6名)、外国人からの意見で計画をつくらなければ、今までやってきたことの延長線上的ことばかりで、観光の衰退からの脱却(再生)につながらないと考えます。</li> </ul>	-	来年度以降に定めるアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定に当たっては、市民等様々な方々の御意見を、これまで以上に取り入れながら進めていくことを考えております。	修正なし
61			<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画の策定に合わせて作り直したらどうかと思います。</li> </ul>	-	賛否両論あるとは思いますが、市としては、次期総合計画の策定(2年後)に合わせて本計画の策定を遅らせることについて、「観光基本計画に基づく戦略的、効果的かつ効率的な観光振興の遅延」、「観光基本計画策定に係る議論が煮詰まっている状況」等を総合的に勘案し、スケジュールどおりに策定することといたしました。なお、次期総合計画策定時には、相互の内容が逸脱しないよう整合性を取ることで、必要に応じて本計画の内容を改定するなど、柔軟に対応してまいります。	修正なし
62			<ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生で、何かの観光プロジェクトを取り上げた時にこの計画では市の観光に対してのコンセプトが国に理解されないと思います。</li> </ul>	-	御意見に係る場合等には、必要に応じて本計画の内容を改定するなど、柔軟に対応してまいります。	修正なし
63			<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠のない目標数字の設定が足かせになる。</li> </ul>	-	本計画では、おおよその目安として数値目標を掲げておりますが、個別事業では、その目標を達成するに当たり、別途、より具体的な目標を定めていくことを想定しております。その過程で、本計画の数値目標を変更する必要がある場合は、柔軟に対応してまいります。	修正なし
64	55 ~61	資料3-1アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光基本計画を策定するのに、必要なアンケートは、現在、伊豆の国市に来ている観光客の性別、年齢、交通手段、移動経路、目的、使用金額などではないでしょうか。</li> </ul>	-	御指摘の項目については、実施済みのアンケート調査によって既に確認しております。ただし、来年度以降、アクションプラン(行動計画)や年度毎の事業の策定の際には、必要に応じて、より詳細な調査の実施を検討するなどして、より効果的な施策の推進に取り組んでまいります。	修正なし
65			<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や観光業者に尋ねる意味が理解できない。</li> </ul>	-	市民や事業所における観光に対する意識など、状況把握のために参考にお伺いしたところであり、十分に有意義なものと考えます。	修正なし

伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
66		全体 総評	・ハード整備とソフト事業に分けて整理した方がいい。	—	本計画は、総合的な観点から、おおまかな方針や目標を定めるものであります。御指摘の件については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業を定める際の参考にさせていただきます。	修正なし
67	・計画の担い手を常に想定しないので現実味に乏しい。		—	おおまかな方針や目標を定める本計画では、「6-1 観光基本計画の推進体制」において、「行政や観光関連事業者及び団体等が、役割分担をしながら効果的な事業展開を図ります。」と明記しております。来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業を定める際には、役割分担を明確にして施策を推進してまいります。	修正なし	
68	・市長が議会等で述べられているバーデンバーデン構想は、現在の総合計画の「夢ある健康温泉都市」と基本コンセプトが同じと考えられます。今回の観光基本計画で、その具体案を示さないということが本当に実現を考えているのか理解に苦しみます。		—	御指摘の構想の件については、本計画に掲げる方針等に包含されていると考えております。また、当該構想の実現に向けた具体的な施策については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業にて定めてまいります。	修正なし	
69	・また、当市には、順天堂病院があり、予防医学として県がファルマバレー構想の中で、位置づけられている「かかりつけ湯」のことも一言も触れていない。		—	御指摘の医療機関との連携については、本計画に掲げる方針等に明記されており、また、県事業との関係についてもそれらに包含されていると考えております。「かかりつけ湯」等、具体的な施策については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業にて定めてまいります。	修正なし	
70	・観光基本計画の目的は、観光振興策で市が今後どのように活性化をはかられ、税収に結び付けていくかということであると考えられる。その点でも、財源の事や最終見込みについての何も述べられていない。		—	本計画は、今後10年間の市の観光振興のおおまかな方向性や目標を定めるものであり、「どの事業にどの予算をどの程度充てるのか」といった内容はそぐわないと考えております。個別事業の財源については、当該事業の策定時や庁内における予算調整時に議論されることとなります。なお、本計画としての最終見込みは「3-1 将来像」に掲げたとおりです。	修正なし	
71	全項	歴史資源を活かす観光地づくり他	フォトロゲイニングと言う新しいスポーツの開催を提案します。 詳細は別紙をご確認願います。 本基本計画に最適な事業であると考えます。	別紙をご確認願います。	いただいた御提案については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業を定める際の参考にさせていただきます。	修正なし

伊豆の国市観光基本計画(案)に係る意見募集結果

※意見は受付順に掲載しています。また、「意見内容」及び「理由」は、原文のまま掲載しています。

意見番号	ページ	項目	意見内容	理由	市の考え方	基本計画(案)の修正又は対応
72	ー	全体的に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定のメンバーが観光関係に偏りすぎてはいないか？これでは、従来と違った視点での考え方ができない。</li> <li>要は、市の活性化をどうすればいいかということなので、ことさら観光という区切りをする必要がないのではないか。</li> <li>・案全体としては、固有名詞を変えればどこでも通用するものでしかない。いいかえれば独自性が何もない。目玉を作る事こそ肝なのではありませんか。</li> <li>・このまま進むと、市は何を・県は何を・国は何をしてくれるのかということ（つまりおねだり）にしかならないと思う。</li> <li>・特に温泉場のこの20年の状況を見ると、自らが身を切る覚悟がなければ事は成就する筈がないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私はそもそも伊豆の国市において観光を一大産業にすることに疑問を抱いています。もっと大きなくりの活性化策があって観光事業も、その括りの中で考えるべきものと考えています。</li> <li>・私がこの種の問題で、現在最も関心のあるプロジェクトは岩手県紫波町のオガールプロジェクトです。</li> </ul>	<p>本計画では、総合計画のまちづくりの基本方針の1つである『「生き生き働く、活気に満ちた産業のあるまち」をつくる(産業・経済・労働)』を観光分野の施策により実現していくものとしております。つまり、最も大きな括りである総合計画における分野別の計画としての位置付けであります。</p> <p>観光は、政府が国を挙げて積極的に取り組んでいるように、少子高齢化が更に進行する我が国において、今後も発展が見込まれる分野であり、市としても、観光振興を、まちづくりのための有効な手段として期待しているところです。</p> <p>なお、策定メンバーについては、もちろん、観光に関する基本計画の策定ということもあり、観光に携わっている方が多く含まれておりますが、計画案の作成に当たっては、学識経験者や公募でメンバー入りした方などの御意見も参考にまいりました。</p> <p>また、温泉場(特に伊豆長岡温泉)に関しては、計画の重点プロジェクトに取り上げているほか、現在も、市民を主体とする取組を進めているところです。</p>	修正なし
73	21	3-2 目標 宿泊客数 平成36年度目標	目標の設定に、宿泊客数の数を好調期に87万人の実績があったの目標とあるが、観光のスタイル・目的が、宿泊から様変わりしている現状を考えたとき、単に、好調期に合わせての目標設定は具体的計画にならないと考えます。		<p>昨今の観光のスタイルは、団体旅行から個人・グループ旅行に変化してきておりますが、御意見のとおり、宿泊を観光の主目的とはしない方も少なくはないかもしれません。しかしながら、これまで、伊豆地域における、観光交流客数に占める宿泊客数の割合は約3割で推移しているほか、静岡県における宿泊客数は、同地域が約6割を占めており、同地域において宿泊産業は重要なものと言えます。さらに、本市においては、観光交流客数に占める宿泊客数は30.8%(H24年度)と、伊豆地域の各市町の平均値である25.4%(同)を上回っていることです。</p> <p>上記の状況に鑑みて、近年、本市にとって重要な産業である宿泊業が低迷していることに対して、今一度、好調期の数値を目指そうと目標設定したところです。</p>	修正なし
74	42	5-1 市民一人ひとりの参加による観光地づくり ③参加・連携できる仕組みの構築	「参加や連携ができる環境づくり」の具体的施策が重要。 歌い文句にならないための具体策を当基本計画に折り込むべきと考えます。	ー	伊豆の国市観光基本計画は、今後10年間の市の観光振興の方向性や目標を定めるものであり、より具体的な施策については、来年度以降、当該計画を基にしたアクションプラン(行動計画)や年度毎の事業にて定めてまいります。なお、それらの策定に当たっては、御指摘の件に十分留意して進めてまいります。	修正なし
75	46	8行目「・・・それを着実に遂行するため・・・各種関連団体と行い・・・」	この文章では、「観光戦略会議」の主体が各種関連団体に帰属すると受取れます。 文面の修正が必要と考えます。	ー	御意見のとおり、「観光戦略会議(仮)」が各種関連団体と個別に協議を行うような、誤解を招く表現となっておりますので、適切な表現に修正します。	P46「6-1 観光基本計画の推進体制」-「主旨」の3ポツ目 ・観光施策の推進に当たっては、それを着実に遂行するための協議を各種関連団体と行い、行政や観光関連事業者及び団体等が、役割分担をしながら効果的な事業展開を図ります。 ⇒【修正後】 ・観光施策の推進に当たっては、行政や観光関連事業者及び団体等が、役割分担をしながら効果的な事業展開を図ります。